

白山山行報告

行程：2024年8月14日（水）～18日（日）

8/14(水)

天理発 19:00～

8/15(木)

1:30 別当出合登山口駐車場(仮眠)4:55→5:04 別当出合休憩舎 5:38→別当坂分岐 7:28→9:41 殿ヶ池避難小屋 10:08→11:08 黒ボコ岩 11:18→11:42 白山室堂 12:09→13:01 御前峰 14:05→14:32 白山室堂(泊)

8/16(金)

白山室堂 4:09→4:43 御前峰 5:45→7:02 大汝峰 9:32→10:43 七倉山分岐→11:05 四塚山 11:16→11:34 七倉山分岐→12:16 大汝峰巻道分岐→12:42 大汝峰分岐 12:50→14:02 白山室堂(泊)

8/17(土)

白山室堂 4:00→4:50 御前峰 5:35→6:14 白山室堂(朝食)7:30→8:24 大汝峰分岐→9:34 お花松原 10:15→12:09 大汝峰分岐→12:50 白山室堂 14:28→15:18 アルプス展望台 15:23→15:50 南竜山荘(泊)

8/18(日)

南竜山荘 7:33→8:36 甚之助避難小屋 8:52→10:03 中飯場 10:20→11:02 別当出合休憩舎→11:17 別当出合登山口駐車場

天候：8/14～16,18 晴天、8/17 曇

標高：御前峰（2702m）、大汝峰（2684m）

標高差：1499m(駐車場～御前峰)

報告者：M

当初北アルプスを計画していたが、台風7号の影響で急遽白山に変更する。現地に行ってみると北アルプスや南アルプスから鞍替えして来たパーティがあり、考えることはみんな同じだなと改めて感じた。

(1日目)

前夜天理から車移動で登山口駐車場で車中仮眠をして4時55分出発。

天候は曇と覚悟していたが一面の青空。別当出合でトイレを済ませ観光新道登山口より入山。道の両脇の木草で日陰となってひんやりとした空気感で心地よい。別当坂分岐からは直接日が当たり暑さの中、右手に別山を眺めながらの歩きとなる。殿ヶ池避難小屋にトイレで立ち寄る。中はきれいな板張りでしばし軽食をとる。

さあ黒ボコを目指して歩き始めるが、長めの休憩をしたためか、なかなか足が上がらない。歩き始めは筋肉への血液の供給が追い付かないのでこうなることはわかっているが、しばらくはゆっくり歩くことにする。黒ボコには大きな岩がありついつい岩の上に立ち上がって写真を一枚カシャ！霧が出てきたのでそうそうに白山室堂に向かう。

室堂で一息つき御前峰へ。午後であるためかガスで展望は望めず。それでも朱色屋根の白山室堂の小屋や、岩々の剣ヶ峰、あさぎ色をたたえた紺屋ヶ池が見えた。白山室堂に下ってみると良くあることではあるが、なんと晴れてきたではないか。明日に期待しよう！小屋で夕食を済ませ午後6時45分ころ小屋裏手から雲海に沈む夕日を眺める。

(2日目)

午後から雷雨との予報で、計画していた百四丈滝へ行くのをやめ、御前ヶ峰・大汝峰そして時間が許す限り百四丈滝への道である加賀禅定道を探索することとした。

朝4時過ぎに小屋を出る。御前峰山頂からは、昨日とはうってかわっての大展望である。これまで2回ほど来たがいずれもガスってて初めての経験である。

太陽が出る方向は曇っていて5時頃に日の出の予定であったが、雲を越えてでてきたのはそれから25分ほど過ぎたころであった。この間、神主の方が岩の上に立って白山や周辺の山塊について丁寧な解説が続いた。この声を聴きながらひたすら日の出を待った訳である。日が出てきた瞬間には、神主様の音頭で山頂にいる人々（恐らく30人はいたような）全員で万歳三唱を行った。しばし御前峰からの展望を楽しむ。東側からは、雲海を従えて北より白馬岳、薬師岳、劔岳、立山、黒部五郎岳、槍ヶ岳、穂高連峰、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、恵那山が見れた。西側は雲海よりちょこんと赤兎山、大長山、経ヶ岳が頭を出している。いずれも標高1600mを越える山である。御嶽山の右肩に富士山が見えるはずであるが、残念ながら確認できなかった。

御前峰をあとにして翠ヶ池方面へ下る。青空を水面に写した翠ヶ池を右手に見ながらそくさと岩場を100m程登り返す。やはり坂はきつい。大汝峰山頂は、岩々で狭い御前峰と違い平坦で広々としている。ここからは翠ヶ池、剣ヶ峰、御前峰が一望である。背景には、もちろん北アルプスから御嶽山、そして剣ヶ峰と御前峰の間から恵那山がかすかに見える。御嶽山の右肩には、中央アルプスか南アルプスの峰々がうっすらと見える。ここでお茶タイムとする。ガスでお湯を沸かしコーヒーを飲む。晴天の下、心地よいそよ風の中でのゆっくりタイムは格別である。ここで2時間半ほど過ごす。西側の雲海は標高1500m位までであるが、東側の雲海は2000mを越えている。あくまで空は青一色である。小鳥のさえずりが聞こえる。

時間があるので、百四丈滝方面へ向かうこととする。七倉山のピークは踏めないがここら辺りの登山路両脇は黄色、紫色一面のお花畑である。七倉ノ辻では、市ノ瀬へ下りる釈迦新道を左に見ながら、まっすぐに加賀禅定道へ歩をすすめる。七倉辻からは、登山道の両側はきれいに草が刈り取れられているが、歩く道は一段深くなっておりここに草が生えており、

足下がわからなくて歩くのに疲れた。やっぱりこの方面は人が少ないのでこの状態が続くのかと思いきや、砂利道に変わった。四塚山の巻き道まで来て先を眺めると雲海に阻まれさすがに日本海は見えない。ただいま午前 11 時、午後からの雷雨が心配なので本日はここまでとする。登山路脇には野生動物観察用カメラが据えられていた。今回の白山山行では、ここ以外でも 2 カ所で同じようなカメラを見かけた。

帰りは疲れているので、大汝峰のピークは越えず巻き道に行く。この巻き道がコースタイム 20 分とあるが、なかなか大汝峰分岐の終点までつかない。午後 1 時半、白山室堂の朱色の屋根が見えた。ホットする。しかし目的地が見えてしまうとこれがなかなか到着できない。天気はあいかわらず満天青空。午後 2 時、小屋到着、生ビールで疲れと咽の渴きを癒やす。

(3 日目)

御前峰で朝日を拝むため午前 4 時小屋を出る。雲海の上なので晴天であるが、山頂から東側は昨日より雲が厚くなっているようだった。遠方の北アルプス方面はガスがかかっているが見えず。雲の合間からの朝日となった。いったん小屋に戻り朝食を取る。

いざお花松原に向けて出発。昨日も通った大汝峰分岐から、中宮道方面へ向かう。先ほどまではお日様に体をさらしながらであったが、ここからは、ガスって来た。御前峰の東側は一樣にガスっており、反対に西側はガスはなく遙か下に雲海がある状態であった。考えてみれば、常に室堂周辺は天候が安定しており晴天であったが、これは大汝峰が盾となって東側のガスを遮っているせいかもしれない。翠ヶ池を右手に見ながらしばらく行くと激下りが 150m 程あり、ガスっているせいと朝つゆにより岩々の道が滑りやすく緊張が続く。お花松原の言葉にだまされて、油断していたせいか、結構リスキーな道と感じた。道がなだらかになってからも道が細くなったり草に覆われてパンツや靴のなかまでつゆがしみこんできた。靴の中は水でぐちょぐちょである。

お花松原は、平坦な場所に少し広い庭園のようにお花が広がっていた。もちろんお花の時期が終わっているのであるが、それでもキリンソウ、タデ、ツガザクラ、綿毛となったチングルマなどが見られた。中宮道の先にある中宮温泉までは 17km と標示があった。遙か先である。

靴の中の水を出し、靴下を絞り来た道を室堂へ帰ることとする。13 時室堂着、ゆっくりお昼ご飯をとり、今晚の宿泊先である南竜山荘へ向かう。途中アルプス展望台があるもガスで何も見えず。午後 4 時前に小屋着。受付を済ませ、近年水洗トイレが設置されたテント場へ向かう。テント場は半分も埋まっていなかった。

(4 日目)

今日は帰るだけなので、朝食をとり小屋でゆっくりした。砂防新道を下ったが、日曜日であるせいか、下からはどんどん 10 人くらいのパーティーや家族ずれ、ご高齢の方がどんどん上がってくる。度々道を譲っていたがあまり多いので道の端を下っていった。その中で 80 才位だろうか、男性のお二人が登って来られ、私が道を譲

ると、即座ににっこりとしてどうぞお先にと言われた。その時の笑顔があまりに素敵だったので、私も年齢を重ねて山に登るときはかくありたいと思った。心のゆとりが大事だな！最近あまり山に登っておらず体力が落ちたせいかな、山歩きが楽しみというよりしんどさのほうが勝って、もう山はいいかな？と考えるときがあるが、それでも山頂にたどり着いたときの喜びは格別でやめられていない。

今回の山行は、終始天候を気にしていたが、結果的には4日の内3日は終日晴天に恵まれ天候に感謝であった。

《1日目》



07:09 別山を右側に見ながら汗をかきかき観光新道を進む



18:19 小屋裏より別山方面を見ると虹が！

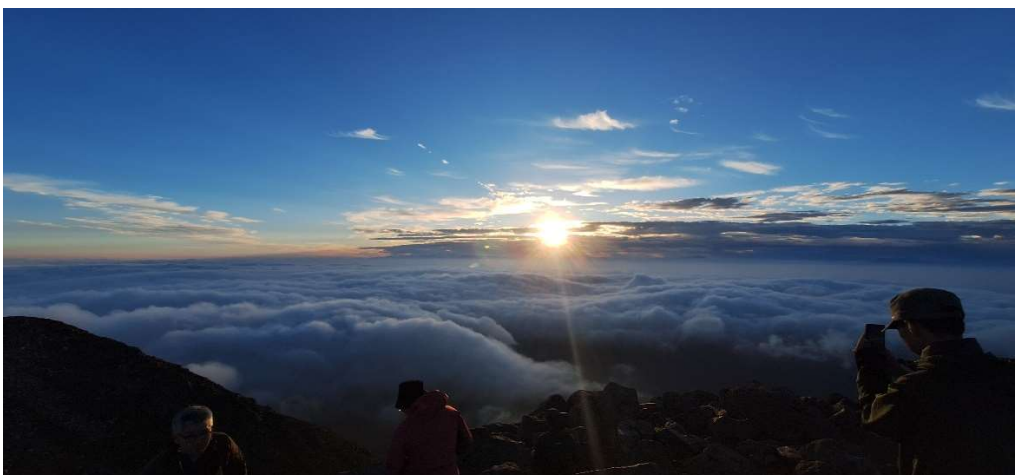


18:37 白山室堂の小屋裏より夕日を見届ける



18:55 御前峰をバックに白山室堂ビジターセンター

《2日目》



05:29 御前峰山頂より朝日を拝む 小さいが北アルプス、乗鞍岳が確認できた



07:03 大汝峰山頂より御前峰と剣ヶ峰を従えた翠ヶ池を望む



08:46 大汝峰山頂より東側に北アルプスの剣岳から西穂高岳、そして焼岳が見える



11:01 四塚山付近にて今日はここまで。この先に百四丈滝が待っている。



13:29 白山室堂に戻ってきた その背後に別山が雲に隠れている



18:46 今日も、小屋裏より夕日を眺める

《3日目》



09:35 時期が終わったお花松原 今日はここまで



18:56 本日のお宿

《4日目》



05:23 南竜山荘より西側を望む 左手にテント場が見える